

▼フレンズコーナー

産官学の連携で土木の夢を発信

NPO法人 あすの夢土木 理事長
京都大学 名誉教授
大西 有三



私たち NPO 法人あすの夢土木は、一般市民や学生・生徒を対象とした現場見学や出前講座、若手技術者の交流や勉強会など様々な活動を通じて建設業、そしてインフラ整備の正しい理解を深め、建設業の魅力を発信している団体です。参加する方だけでなく、我々会員も楽しみながら活動することをモットーにしています。我々の活動の内容を紹介させていただきます。

建設業冬の時代あたりから建設業の人材確保が課題として浮き彫りになってきました。建設業界では、各発注者や団体がそれぞれに建設業の魅力を発信しようと、さまざまな PR 活動を行っていました。NPO 法人あすの夢土木は、それぞれに行っている活動を「産学官の連携で、一緒にやろうではないか」という発想からスタートしました。私が京都大学の副学長をしていた平成 22 年に、学識者と国土交通省近畿地方整備局、阪神高速道路会社、建設コンサルタンツ協会、日本建設業連合会らで「土木夢づくり懇談会」を発足させ、平成 26 年 9 月に NPO 法人設立に至りました。

あすの夢土木という名前は文字通り、建設業には明日があり、夢がある産業であること、そして建設技術者を夢の持てる職業にしたいという思いから付けました。役員やワーキンググループの方々はみなボランティアで活動しており、当初は現場見学会などからスタートしましたが、今では小中学校に出向く出前講座や若手技術者の育成・交流のイベント、学生のためのキャリア支援、土木遺産巡り、シンポジウムなど活動の範囲を広げています。会員は 300 人を超え、コロナ禍までは会員の交流を図る「会員交流会」を年に 3 回は実施し、毎回 150 人程度は集まって立食するなど、土木の仲間の結束のすごさを改めて感じます。

ここからは活動の一端を紹介させていただきます。

現場見学会と出前講座

現場見学会は年に 1 度、大規模な土木の現場に訪れ、一般の方々だけでなく、会員の家族を含めてそのスケールの大きさと社会への貢献などを肌で感じ取っていただいています。これまでに天ヶ瀬ダム再開発事業やダム建設現場、京奈和自動車道の JCT 建設、阪神高速大和川線の建設現場などで実施しました。

また、生徒向けの出前講座では、モルタルを用いたコンクリートづくり体験や割り箸を用いたのレオナルド橋づくり、そして他機関の協力を得て、ドローン体験や VR を用いた高所作業体験などを行い、先生方からも好評を得ています。出前講座とセットで現場見学会も行うことがあります。



学生のためのキャリア支援企画

毎年、10~11 月に行われるイベント、建設技術展近畿と連携して「学生のためのキャリア支援～相談のります、将来への道づくり～」を展示会の会場で実施しています。土木を学ぶ高校生や大学生などを対象に、近畿地方整備局、高速道路会社、建設コンサルタント、地質調査業、総合建設業、橋梁建設

業などのカテゴリーで、若手の技術者が訪れた学生・生徒らに仕事の内容や魅力などを紹介し、相談を受けることで、将来に仕事を選ぶための参考にしてもらっています。

毎年、150人程度が参加していますが、土木学会関西支部の行事との連携で、さらに大学院生の参加を増やす計画も立てています。このキャリア支援は、まさに人材確保を目的にスタートした、あすの夢土木活動の目玉であるとも言えます。

関西のゆめプロジェクト発表会

インフラ整備やまちづくり、観光振興などに対する思いを披露する場として、35歳以下の若手技術者に夢のあるアイデアを求めるとともに、そのぶっ飛んだ、常識外れ、型破りのアイデアを今後の参考にしようとして企画しています。今年で4回目を迎え、官民の若手から36件の提案が発表されました。発表時間は1人2分。パワーポイント1枚にアイデアを詰め込んでもらいます。デジタル技術を使ったアイデアや地中・空中・海中を利用した提案など、夢や思いを語っていただきました。



参加型技術講演会

若手技術者の育成と交流を深めてもらおうと、2016年からスタートしました。これも35歳以下の若手技術者に6人1組のグループを作り、防災とインバウンドの観点から、関西圏における諸地域の活性化を図る実施計画の作成といったテーマを与え、議論し、発表していただきます。大学院生にも参加してもらっているのも特徴で、終了後は懇親会を行い、さらに交流を図ってもらっています。残念ながら現在はコロナ禍で実施が難しい状況ではあります。



シンポジウムの開催

建設技術展近畿の特設講演会場を利用して毎年、あすの夢土木の主催によるシンポジウムを開催しています。内容はその時々で、これまでに「あすの夢国土の想像」や「建設が変わる、未来が変わる、土木とAI」など多岐にわたります。令和3年は「2050年に繋ぐみらい予想図～若手技術者が描くインフラの将来像」をテーマに開催し、近畿地方整備局、建設コンサルタント協会、土木学会、日本建設業連合会に所属する若手に語り合っていました。

(おわりに) あすの夢土木の会員は、土木大好き人間の集まりでもあります。新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けて、活動に制限を受けている状況でも、できることを楽しくやっていくとともに、若い人たちにもどんどん参加いただき、土木の魅力を発信していきましょう。

あすの夢土木ホームページ <https://yumedoboku.com/>

●私たちは、土木学会インフラ
パートナー団体の仲間です。

